




令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 島根県 】

学校名【 島根県立出雲養護学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・ V （複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	高等部 1年生（36名） 2年生（41名） 3年生（33名）
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（保健体育） ② その他（特別活動、道徳、生活単元学習）
4 目標 （ねらい）	1. 島根スサノオマジックによる夢授業 ・選手からどのようにして夢を叶えたか等を聞き、将来や今後の学校生活の目標等を考えるきっかけにする。 ・選手との交流を通して、スポーツの魅力や楽しさ等を感じるとともに県内プロスポーツチームについて知ることができる。 2. パラスポーツ体験（ゴールボール） ・東京パラリンピックの競技で注目を集めた「ゴールボール」を実際に体験し、パラリンピックに興味・関心をもったり、競技の楽しさや難しさ等を感じたりすることができる。
5 取組内容	1. 島根スサノオマジックによる夢授業 《事前学習》パワーポイントを使って、以下のことを学習した。 ・松江市をホームタウンとしたBリーグ（プロバスケットボールリーグ）に所属しているプロバスケットチームである。 ・チーム名は、出雲神話の古事記に登場する神様でヤマタノオロチを退治したとされる「スサノオノミコト」に由来して名づけられた。 ・中国地方では最初のプロバスケットボールチームで、山陰地方のプロスポーツチームとしては鳥取県を拠点とするガイナール鳥取に次いで2クラブ目である。 ・東京オリンピックに出場した選手（日本代表、オーストラリア代表）が在籍している。 ・来校する選手（白濱選手、ニカ選手）についての紹介 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>島根スサノオマジックとは</p> <p>松江市をホームタウンとしてBリーグ（プロバスケットボールリーグ）に所属しているプロバスケットチームです。</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>島根スサノオマジックには代表選手が所属</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>金丸 景輔 選手 <small>（日本代表）</small></p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ニック・ケイ 選手 <small>（オーストラリア代表）</small></p> </div> </div> </div> </div> <p style="text-align: center;">*事前学習で使用したパワーポイントの一部</p>

《活動》

【試合（バスケットボール）】

白濱選手チーム、二カ選手チームの2つに分かれて5人対5人の試合（5～7分）を実施した。また、試合に出していない生徒はコートの周りでメガホン等を使って応援した。ダンクシュートやフェイント等、プロの技を間近で見ることができ、とても楽しい時間を過ごすことができた。

*活動の様子



【スポーツ交流（レクリエーション）】

オセロのような白と黒のカードを制限時間内に自分の色にひたすらひっくり返す「ひっくり返しゲーム」を行った。ひっくり返してはひっくり返され、最後まで勝敗は分からないところもゲームの面白さでとても白熱したゲームをすることができた。

*活動の様子



【講話（質問コーナー）】

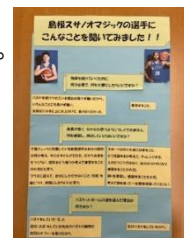
各学年、2～4名の生徒が質問を行った。バスケットボール部に所属している生徒が悩んでいることを聞いたり、物事を進めていくためにどうしたらいいか等を聞いたりした。1つ1つの質問に対して、真剣に答えていただき、生徒たちにとっては参考になる話であった。

*活動の様子



《事後学習》




- ワークシートを使って、実際にやってみて楽しかったことや気づいたことを記入した。
- 質問の内容を掲示物にし、学年の廊下に掲載した。



2. パラスポーツ体験（ゴールボール）

《事前学習》パワーポイントを使って、以下のことを学習した。

- 島根県障がい者スポーツ指導者協議会の方から指導していただく。
- ゴールボールは、鈴の入ったボールを互いに投げ合い、得点を競うスポーツである。また、選手は障がいの程度に関わらず、「アイシェード」と呼ばれる目隠しを装着し、全盲状態でプレーする。
- 動画を見て競技のイメージをもつ。

	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="600 96 916 271"> <p style="text-align: center;">ゴールボールとは</p> <p>鈴の入ったボールを互いに投げ合い、得点を競うチームスポーツです。コート上の選手は3人。選手は障がいの程度に関わらず、「アイシェード」と呼ばれる目隠しを装着し、全盲状態でプレーします。</p> </div> <div data-bbox="943 96 1262 271"> <p style="text-align: center;">鈴の入ったボール</p>  </div> </div> <p style="text-align: center;">*事前学習で使用したパワーポイントの一部</p> <p>《活動》</p> <p>実物を使って競技紹介やルールの説明を受け、その後タオルで目を隠し鈴の入ったボールをキャッチしたり、投げたりした。また、自分がどの位置にいるのか確認するためにラインテープの下に紐を留めて凸凹のあるラインを作り、それを触りながら位置を確認することも学んだ。どの生徒も鈴の音を聞きながら手を出したり、横に飛び込んだりしてボールを止めるようとしていた。</p> <p>*活動の様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>《事後学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートを使用して、実際にやってみて気づいたことや楽しかったこと、難しかったことを記入した。 視覚障がい者の方への理解を深めるために、福祉学習を行なった学級もあった。2人ペアとなり、1人は介助者、もう1人はタオルやはちまきを使って目を隠しながら歩き、普段歩いている廊下が見えないだけでとても怖くなることや介助者がいるだけで怖さがなくなることを学んだ。
<p>6 主な成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 島根スサノオマジックによる夢授業 <ul style="list-style-type: none"> 選手からどのようにして夢を叶えたか等を聞き、将来や今後の学校生活の目標を考えるきっかけになった。 選手との交流を通して、スポーツの魅力や楽しさを再確認することができた。 県内プロスポーツチームへの興味・関心度が上がった。 2. パラスポーツ体験（ゴールボール） <ul style="list-style-type: none"> 東京パラリンピックの競技を実際に体験し、競技の魅力や難しさを知ることができた。 競技や競技以外（福祉等）について、学ぶ良いきっかけになった。 上手くできたときは拍手をしたり、惜しかったときは励まし合ったりするなど仲間を認めながら活動することができた。
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒や学年の実態に応じた活動をする。 スポーツについての理解を深めるため、地域のくにびき神話を題材に事前学習を行う。 視覚障がいの理解を深める。 パラリンピックの採火式に参加し、パラリンピックの開催に関心をもつ。

<p>8 主な課題等</p>	<p>1. 島根スサノオマジックによる夢授業</p> <ul style="list-style-type: none"> • 質問コーナーでは、事前に質問を考えておいたほうがよい。夢や目標等、実生活や今後の学校生活に繋がる質問をすると適切な助言をもらうことができる。 • 活動全体のスケジュールにゆとりをもつと進めやすい。 • 選手とのスポーツ交流も大事だが、質問コーナー等にも多くの時間を充てたり、多くの生徒が質問できたりすると教育効果が高まると思う。 <p>2. パラスポーツ体験（ゴールボール）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2時間分の時間を確保し、1時間目はキャッチや投げ等のゴールボールに必要な技術を身につけ、2時間目はゲーム中心で行うと競技の魅力や難しさ等をより感じるのではないかなと思う。 • 準備等に時間がかかるため、事前に使用する場所の準備ができるとスムーズに実施しやすい。 • 視覚障がい者の方への理解を深めるために、福祉学習を事前学習や事後学習で行うと教育効果が高まると思う。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 今後もオリンピックやパラリンピックの学習を継続して行い、興味や関心を高めていく。 • 体験的な学習を多く取り入れ、スポーツの魅力や難しさを学ぶとともに仲間を認めたり高め合ったりする心を育てていく。 • 生徒の実態に合った競技に触れていく。 【オリンピック競技：バスケットボール、サッカー、陸上競技、野球・ソフトボール、バレーボール】 【パラリンピック競技：ボッチャ】